

2021年3月11日

今日は東北震災が起こって10年目となる。ちょうどいいのでこの日私が経験したことを残しておこうと思う。東北の状況に比べれば大した状況ではなかった。

私はこの日どこへ行こうと思ったのかは覚えていないが、ちょうど地震が起こったころ京王線で、新宿に向かっていて。私の電車が明大前に停車した時である。2時26分過ぎ、あの地震に襲われた。電車はタイミングよく駅に停車していたものの最初少し揺れたかと思うと、いきなり横に揺れだした。まるで少し波のある海で、船に揺られているような感じ。外を見ると電柱やら、街路灯やらが、横に揺れていた。ドアが開いていたので、急いで飛び出そうと、経験したことのない揺れであったので、慌てて飛び出しても何があるからないと思い、倒れそうな電車の中にとどまった。電車が横に倒れるのではないかと思って倒れてもいいように、やや身構えた。揺れが収まってから外に出て状況を見渡した。この時点では震源など全く分からず東京付近かと思い、どこかで被害が出ているのではないかと思った。とくに周りで被害は見られなかったためゆっくりと明大前駅から外に出てみようとした。すでに電車は止まっておそらくすぐには動かないとの放送があった。改札口は開いていて自由に通過することが出来た。ただおそらく長丁場になると思い。駅のすし屋で稲荷ずしを少し購入した。すぐに皆がさっとうする前だったので余裕で購入できた。

駅の外に出ると甲州街道はすでに人が帰宅するため歩いている人でいっぱいだった。私もあるいて調布まで戻ろうかと思ったが、電車が動くのを待つことにした。駅前の電気屋か、パチンコ屋の前にTVがおいてあり地震のニュースをやっていた。この時東北の海沿いが震源であることを知った。かなり大きな地震とのことだった。まもなくTVにはあの津波の様子が映し出され、本当かと思ってしばらく見ていた。すごいことが起こっているとすぐに判った。明大前で電車が復旧したのはよる7時過ぎ、ここで5時間くらいTV等を見ながら過ごしていた。

7時過ぎに電車が復旧したとの放送があった。ただ一番電車はおそらく混雑しているだろうと思い乗らなかった。案の定2番電車もまもなく到着したが、かなりすいていた。もちろんすぐに家に向かったのだが。電車が動き始めたのを確認して腹も空いたし稲荷ずしを食べた。2番電車に乗って割と苦も無く家までつくことが出来た。改めて調布府まで歩かないでよかったと感じた。明大前で5時間ほど待ったがその甲斐があったというものだった。割と京王線の復旧速度を信頼していたので、やたら動き回らず良かったのを覚えている。家に帰ってからは津波の放送をずっと見ていたのを記憶している。また翌日には福島原発の爆発の方向があり確かに、1回目は水素爆発かもしれないが2回目は素人目に見ても核爆発じゃないかと思った。幸い東京は風上であったので、助かったが、風下では放射能のチリが飛び散っただろうことは、すぐに判った。もし東京が風下になっていたら、東京の全員避難となっていたらとゾッとした。勿論福島原発の放射能が反対でよかったと思っているわけではないのだが、東京住民が全員避難となったら避難地域も含め大混乱となっただろう。いわゆる日本壊滅の様相を示したはずだ。原子力委員会を含めた当時の東電の幹部たちがいまだにノホホンとしていることが気に入らない。